

ESR



HUMAN-CENTRIC DESIGN.

世界的に新型コロナウイルスのパンデミックに関連する様々な規制が緩和され、経済は回復基調を強めています。経済・社会のデジタル化の加速により、当社の主力事業である先進的物流施設・データセンター（＝ニューエコノミー不動産）のインフラとしての重要性がさらに高まり、需要も旺盛です。

2022年1月のARAアセットマネジメント社の買収完了により、ESRはアジア太平洋地域（APAC）最大の不動産アセットマネジメント会社に成長し、次の時代に向け新たな一章を開くことになりました。2006年にレッドウッドを日本で創業して以来、ここまで歩み続けることができたのは、ひとえにステークホルダーの皆様のご支援の賜物であり、この場をお借りし心より御礼申し上げます。

本年1月に敷地面積72万㎡という大規模開発の1期目「横浜幸浦ディストリビューションセンター（DC）1」、4月に延床15.5万㎡の中京圏最大級「弥富木曽岬DC」が竣工いたしました。当社は開発する土地の歴史的背景や景観に敬意を払い、地域社会のために経済的・環境的・社会的に意義のある貢献ができるよう開発計画を立てており、「横浜幸浦DC1」では30年以上前に植樹され荒廃が進んでいた「金沢の森」を保存、ランドスケープデザイナーのお力添えで再生させ、次世代へ繋げる取り組みをしています。2期目「横浜幸浦DC2」ではガントリークレーンを産業遺産として保存し新たな価値を加えることにチャレンジしており、来年1月の竣工にもご期待いただきたいと思います。コロナ禍に計画を進めた「弥富木曽岬DC」では、木曽岬町をオマージュしたデザインやワーカーの安全性と快適性により配慮したアメニティや設備を多数導入しました。

他、今年8月に「川崎浮島DC」が竣工し、12月に九州初の「福岡甘木DC」、来年3月に日本最高層の9階建て革新的なアメニティを備えた「東扇島DC1」が完成予定です。

ESR初のデータセンター事業である「OS1データセンター」は大阪で11月に着工します。日本では加えて三鷹エリアの「TK1データセンター」の開発計画も発表し、本年7月にはAPACのデータセンター開発に特化した「ESRデータセンター・ファンド1」も組成、グループ全体でデータセンター事業を加速させ、APACの経済発展に寄与したいと考えております。

また、ESRグループとしてサステナビリティ経営の高度化を進めており、本年6月に国連の責任投資原則（PRI）の署名機関となりました。日本では2021年より自家消費型太陽光発電所を順次稼働させ、次世代に向けた再生可能エネルギー事業として環境付加価値を取引するグリーン電力証書発行システムを始動しています。

地域社会への貢献として、複数の市との一時避難場所としての災害協定締結に加え、昨年12月に都道府県レベルでは初めて神奈川県と広域物資輸送拠点開設のための災害協定も締結し、本年8月に神奈川県と川崎市と共同で初の拠点開設訓練を横浜幸浦DC1で実施しました。

ESRはお客様のニーズに応え、ビジネス拡大をサポートし、ステークホルダーの皆様にも長期的な価値をもたらすために、ニューエコノミー不動産セクターへのダイナミックな投資機会をさらに加速させ、持続可能な社会の実現への貢献と企業価値を高めることに真摯に取り組んでまいります。今後とも一層ご支援ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2022年10月吉日

ESR株式会社 代表取締役
スチュアート・ギブソン



HUMAN-CENTRIC DESIGN.



OVERVIEW OF ESR GROUP

APAC'S LEADING REAL ASSET MANAGER POWERED BY THE NEW ECONOMY

デジタル経済が世界を席卷する変化著しい時代において、ESRはARAとの合併により、運用資産残高1,400億米ドルを誇るアジア太平洋地域（APAC）の不動産アセットマネジメントのリーディングカンパニーとなりました。経済・社会のデジタル化を支えるインフラであり当社の原動力である先進的物流施設・データセンター（＝ニューエコノミー不動産）事業が強化され、ネットワークは日本・中国・韓国・シンガポール・インド・オーストラリア・ニュージーランド・ベトナム他東南アジアを含むAPAC主要国に加え、欧米諸国にも拡大いたしました。

ESRは「Space and Investment Solutions for a Sustainable Future」をパーパス（存在意義）とし、お客様、従業員、株主、地域社会など全てのステークホルダーの長期的利益を目指し、持続可能な未来に向けた空間を創出し、ダイナミックな投資機会・ソリューションを提供してまいります。



Our Business

ESRは投資・ファンドマネジメント・開発を事業の柱にし、お客様の多様化するビジネスをサポートし、投資家様の利益拡大に努めてまいります。

投資

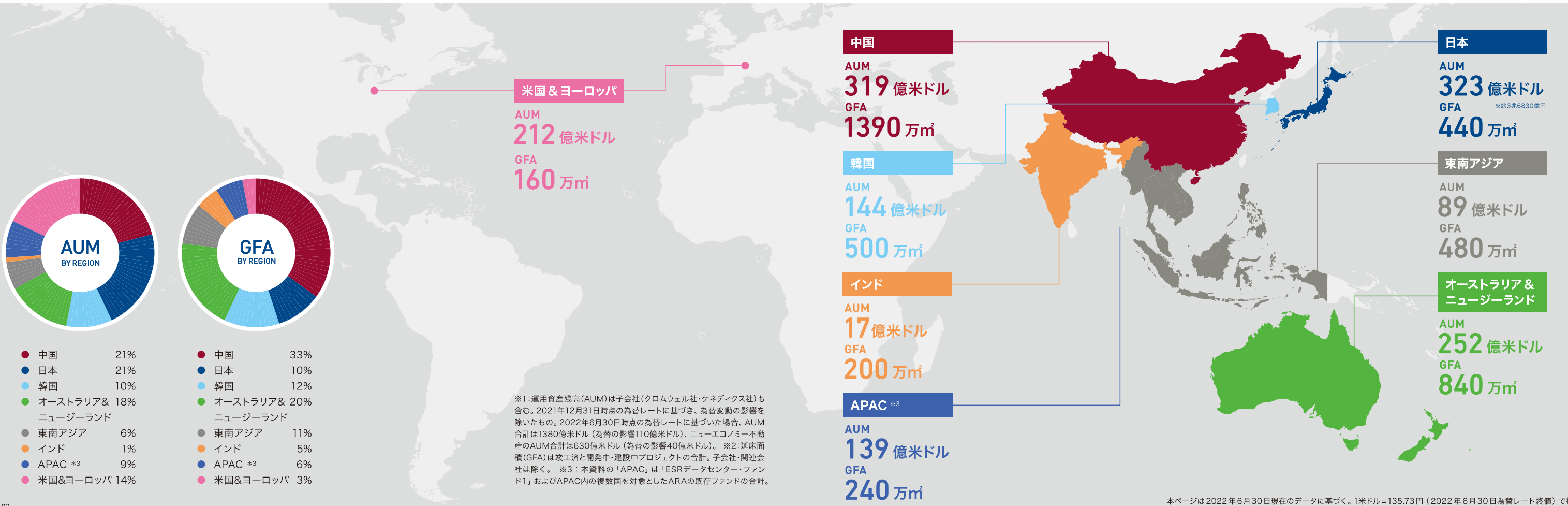
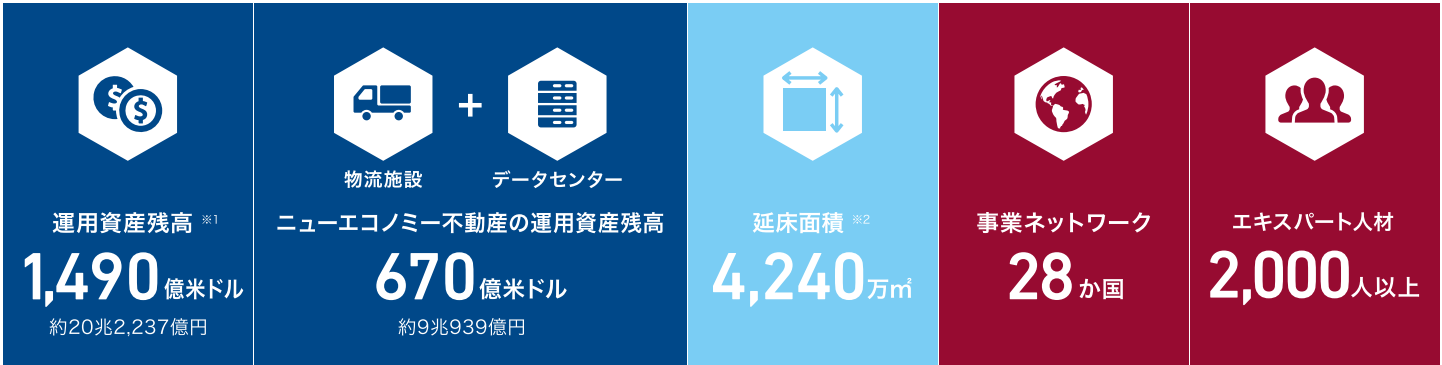
運用するファンドと投資ピークルを通じて、機関投資家の投資対象となる多角的なアセットクラスに投資します。

ファンドマネジメント

当社のファンド・マネジメント・プラットフォームは、多種多様なアセットクラスや複数地域にわたる私募ファンドと上場リートで構成され、投資家が資金を循環させポートフォリオの最適化と利益を確保するESR独自の「循環型投資エコシステム」を提供します。また、アセットマネジメント事業を通じ、資産価値の最大化を実現し、投資家皆様の利益拡大に努めてまいります。

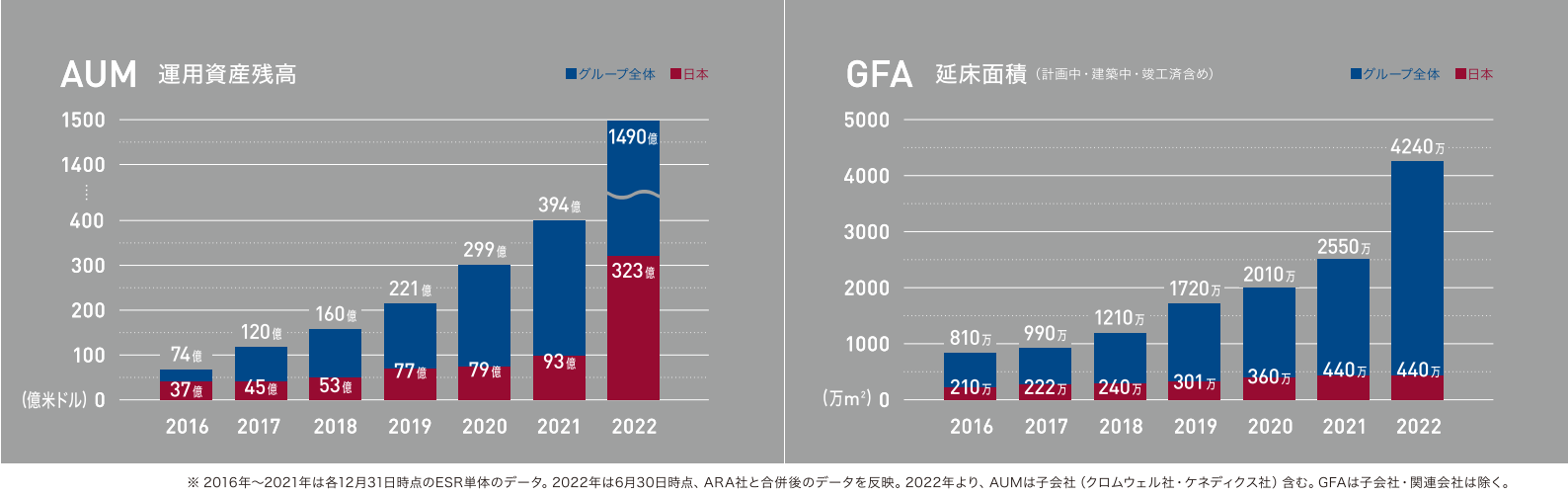
開発

土地の分析調査から取得、企画・設計、リーシングまで網羅する総合力を備え、先進的物流施設・データセンター他の施設を開発し、様々な課題に対し付加価値の高い解決策を提供することでお客様の利益を最大化し、事業拡大に貢献してまいります。



CORPORATE MILESTONES

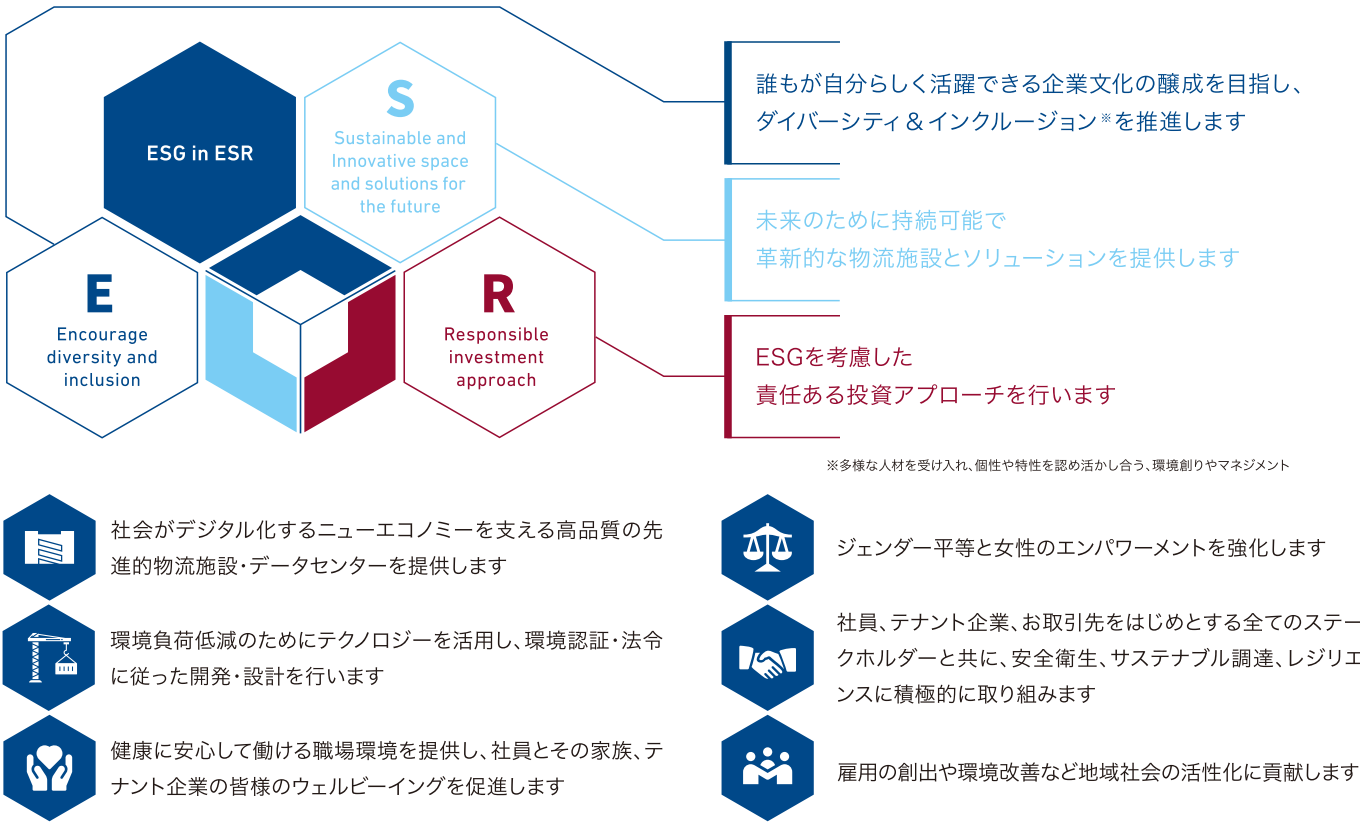
ESRは2006年に日本でその歩みをはじめ
アジア太平洋地域に特化した物流不動産会社として成長を続け
2022年1月ARAアセットマネジメント社と合併
アジア太平洋地域 No.1の不動産アセットマネジメント会社になりました



ESG in ESR

ESRはESG（環境・社会・ガバナンス）に配慮した責任投資・取り組みを経営の核とし、事業活動を通じ、社会の持続的な発展への貢献と長期的な企業価値向上に努めます。

Our Sustainability Commitments



SDGsへの貢献

ESRはすべての人にとってより良い持続可能な未来を創造するために、SDGs(持続可能な開発目標)を社会課題解決のための共通言語・イノベーションの機会として捉えています。上記6つの重点項目をSDGsと関連づけ、戦略的な取り組みを通じ、SDGsの目標達成への貢献を目指します。



CASE STUDY

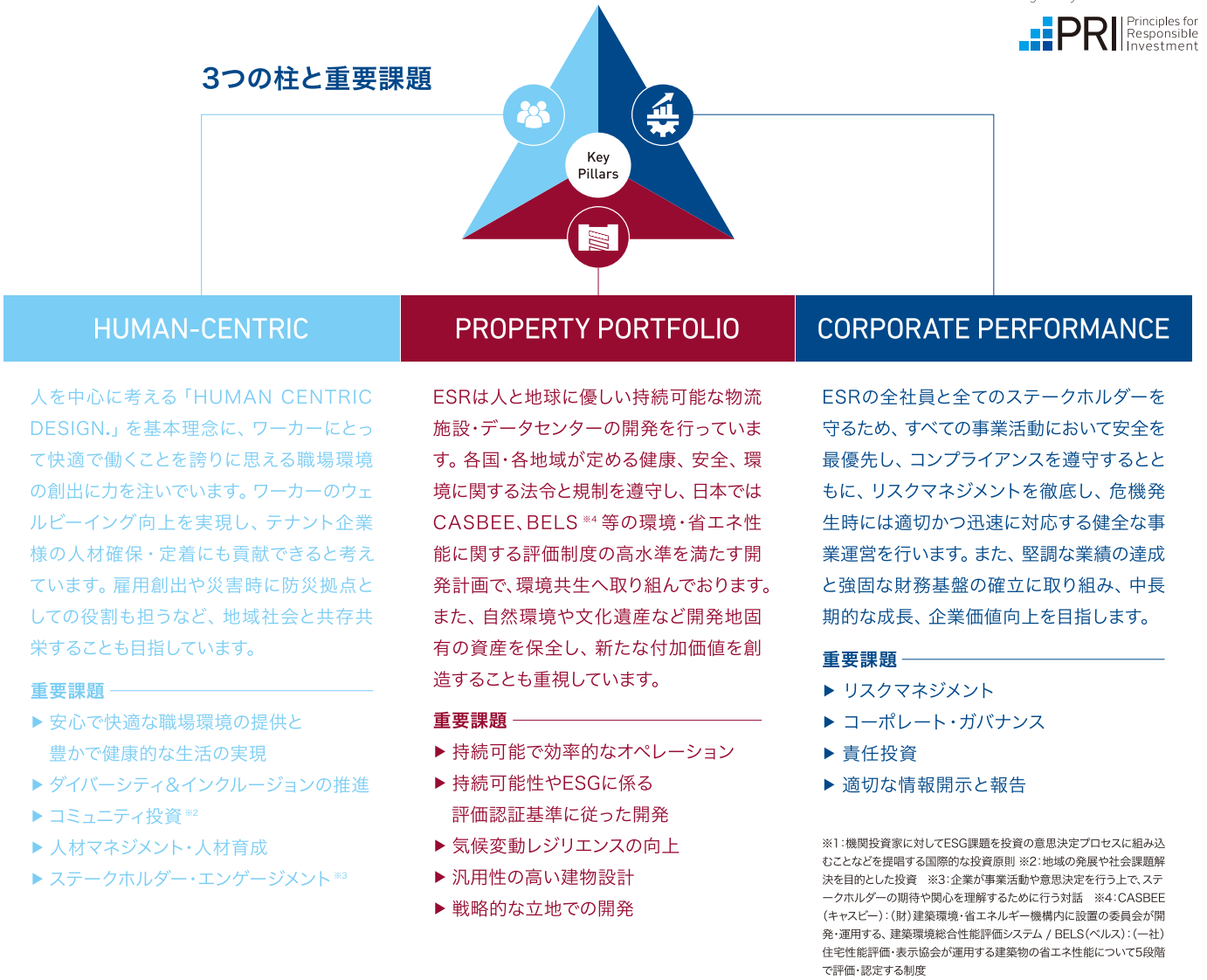
子育て世代の社会参画とキャリア形成を支援

物流業界の労働力不足は大きな社会課題となっております。ESRは物流施設のマイナスイメージを払拭し、テナント企業様の運営に必須条件である「人材確保・定着」への施策として、当社施設で働くワーカーを第一に考えた様々な革新的なアメニティとサービスの提供に力を注いでおります。中でも託児所「BARNKLÜBB（バーンクラブ）」は子育て世代の女性の職場復帰とキャリア形成の支援にも繋がると考え、延床10万㎡以上の7施設に設置済み、市川DC、尼崎DC内で稼働しています。お子様の豊かな感性を育むデザイン空間で、バイリンガル教育や手作りの給食や行事食を通じた食育、毎月のイベント、徹底した衛生管理など、手厚く愛情溢れる質の高いサービスを無料で提供しており、今後も順次開園予定です。また、夏休み等を利用し、お子様が楽しく英語力や創造力を育める「ESR学童スクール」も開校しております。

(上)バーンクラブ尼崎 (下)バーンクラブ市川

ESG Strategy

ESRは「Human-Centric（人を中心に考える）」「Property Portfolio（施設開発）」「Corporate Performance（企業行動）」を柱に、2025年までに達成すべき目標や重要課題を特定した「ESG2025ロードマップ」を策定し、ESGに関する国際的なイニシアティブにも積極的に参画しています。2022年6月に国連の責任投資原則（PRI）※1の署名機関となり、グループ全体で事業活動を通じESGへの取り組みをさらに強化してまいります。



Awards & Accolades

PRODUCT EXCELLENCE



設計の革新性と物流施設が果たす社会・経済インフラとしての意義を高く評価され、ESR尼崎が「MIPIM Asia Awards 2020」のBest Infrastructure, Community & Civic Building部門において最高位である「金賞」を受賞いたしました。

SUSTAINABILITY

2021年度 GRESBリアスエステイト 評価※1
ESG推進への取り組みが評価され、当社が運用する3つの日本の物流施設開発ファンド（RJLFⅡ・Ⅲ、コアファンド）が総合スコアのグローバル順位による格付の最高位「5スター」を獲得しました。

2021年 MSCI ESG格付け評価※2
上位3位の「A」を獲得しました

※1：2009年に欧州年金基金が中心となって創設された不動産やインフラストラクチャーを保有・運用する企業やファンドのESG配慮を測る国際的なベンチマーク ※2：米国・ニューヨークに拠点を置く金融サービス事業者MSCIによる、長期的に重要なESGリスクに対する企業の耐性を測定するように設計された格付け

CORPORATE EXCELLENCE



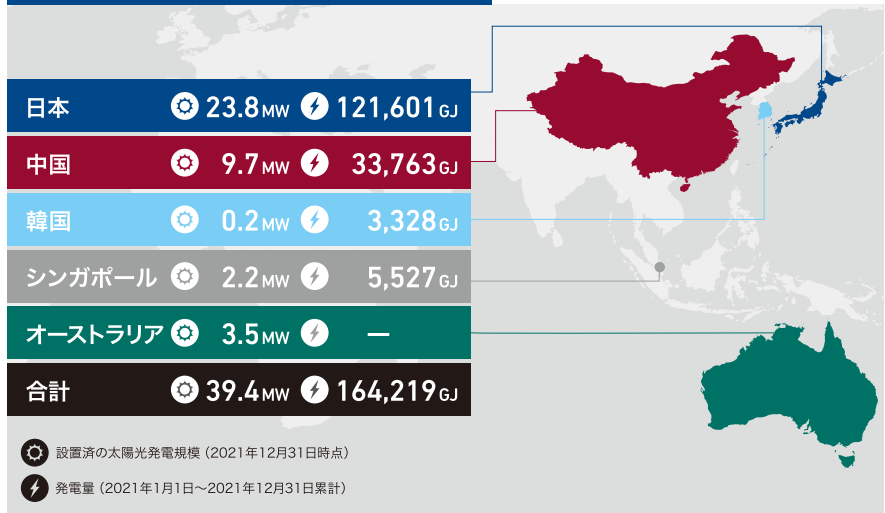
ESR 共同創設者・共同 CEO のスチュアート・ギブソンとジェフリー・シェンが、リーダーシップと業績を評価いただき「EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2021」の「不動産部門大賞」を受賞いたしました。

Sustainable & Efficient Operations

ROOFTOP SOLAR PLANTS

ESR は 2013 年以来、施設の建物屋上に太陽光パネルの設置を推進し、太陽光発電事業に積極的に取り組んでおります。「ESG2025ロードマップ」で「2025年までにグループ全体の太陽光発電規模を52MWに拡大する」と定めた目標の早期達成を目指し、各国で太陽光パネルの設置と太陽光発電所の稼働を推進し、他の再生可能エネルギーの導入も検討しながら、CO2削減と環境改善に貢献してまいります。

ESRグループの太陽光発電規模と発電量



日本ではFIT※1からの制度移行を見据え、2021年より市川DC、藤井寺DC、尼崎DC、野田DC、守谷DCで自家消費型太陽光発電所を稼働させ、今後も複数施設で順次稼働予定です。また、2022年3月、ESR独自のグリーン電力(GE)証書※2発行システムを通じ、環境付加価値の提供を開始しました。GE証書発行システムを次世代に向けた再生可能エネルギー事業に位置づけ、テナント企業を中心に訴求し、各企業のCO2排出量削減の目標達成をサポートしてまいります。

※1:「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」で定められた再生可能エネルギー固定価格買取制度
 ※2:省エネルギーや温暖化抑制といった再生可能エネルギーの「環境付加価値」を、証書発行事業者が(一財)日本品質保証機構の認証を得て「グリーン電力証書」という形で可視化し取引する仕組み



POWER STATION

電気トラック・自動車用の高速充電ステーションを尼崎DCに導入。今後、設置台数・施設を拡大させ、CO2排出ゼロのクリーンエネルギー自動車の普及をサポートし、CO2削減に貢献してまいります。

CASE STUDY

良い施設づくりのために、ワーカーの生の声を反映

施設で働くワーカーを対象に、施設に欲しいサービスやアメニティ、改善点をヒアリングするためのアンケート調査を実施。コインランドリーがあると便利、美味しいコーヒーが飲みたい、キッチンカーを手配して欲しい、電動の自転車用空気入れを設置して欲しい…等、様々な生の声を拾い上げ、すぐに導入・改善できるものは迅速に対応し、新プロジェクトで実現させるなど、より良い環境とサービスの提供に努めています。



コインランドリー

日替わりのキッチンカー

電動の自転車用空気入れ

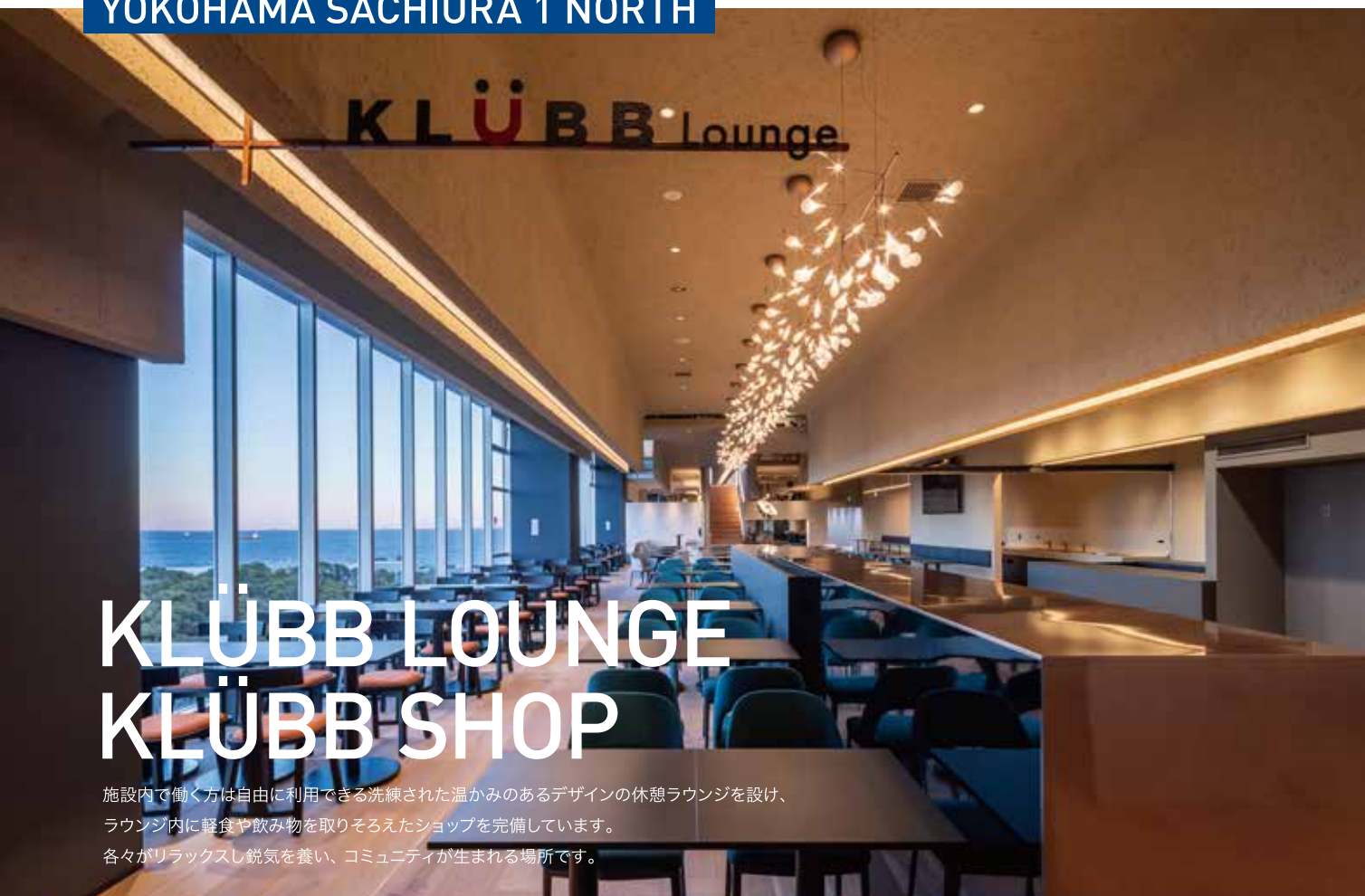
CASE STUDY

スポーツマンシップに則る多国籍コミュニティをサポート

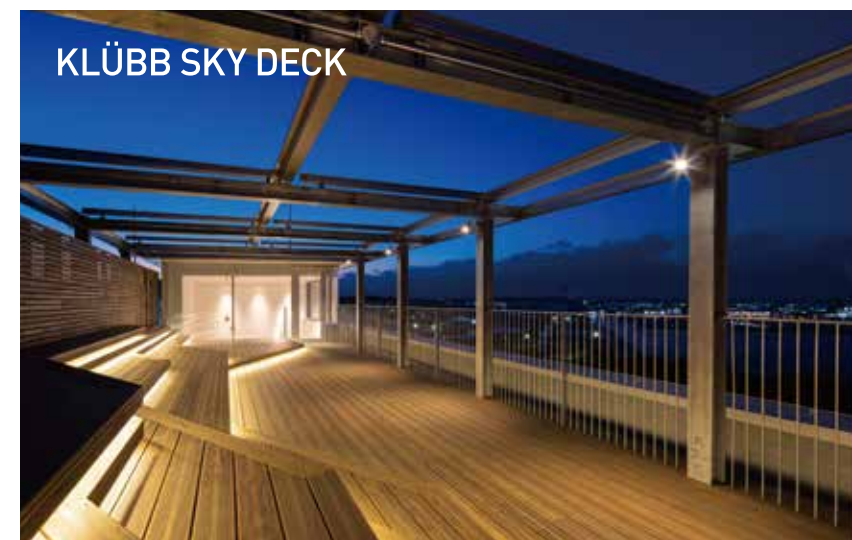
ESRはダイバーシティ、インクルージョンの促進とより良い社会作りに貢献できる活動に積極的に取り組んでおります。世界中で愛好されるサッカーを通じ日本で国籍・世代を超えたコミュニティの形成に長年取り組んできたFooty Japan (フティージャパン) が主催する多国籍のアマチュアサッカーリーグ「Tokyo Metropolis League」とカップ戦「Footy Japan Cup」の冠スポンサーとなり、グローバルなコミュニティに発展できるよう長期的に支援してまいります。

HUMAN-CENTRIC DESIGN.

ESRは「HUMAN CENTRIC DESIGN. (人を中心に考えたデザイン)」を基本理念に、弊社施設で働くことを誇りに思ってもらえるよう、「KLÜBB(クラブ)」と名付けたアメニティエリアの充実を図り、快適で魅力的な職場環境づくりに力を注いでいます。



施設内で働く方は自由に利用できる洗練された温かみのあるデザインの休憩ラウンジを設け、ラウンジ内に軽食や飲み物を取りそろえたショップを完備しています。各々がリラックスし鋭気を養い、コミュニティが生まれる場所です。



YATOMI KISOSAKI

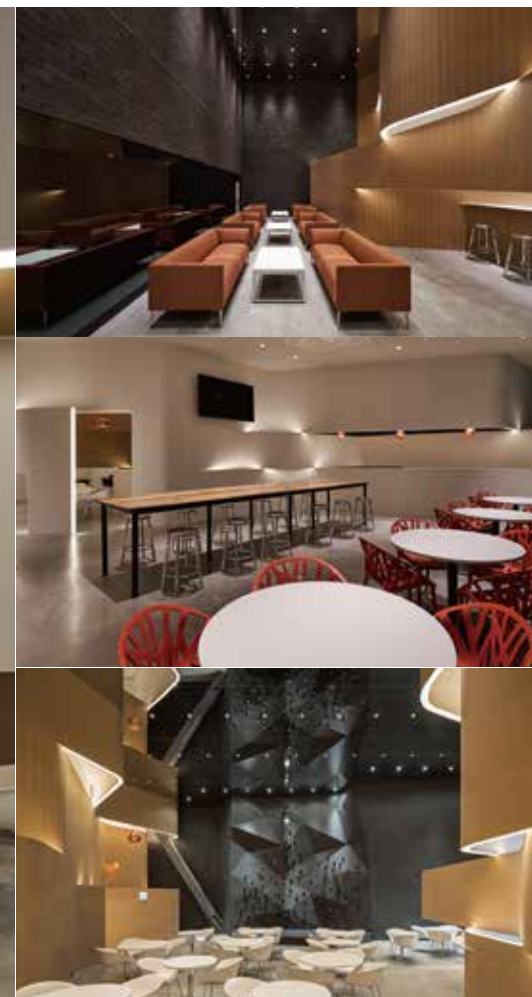


AMAGASAKI 1F



AMAGASAKI 6F

ICHIKAWA EAST



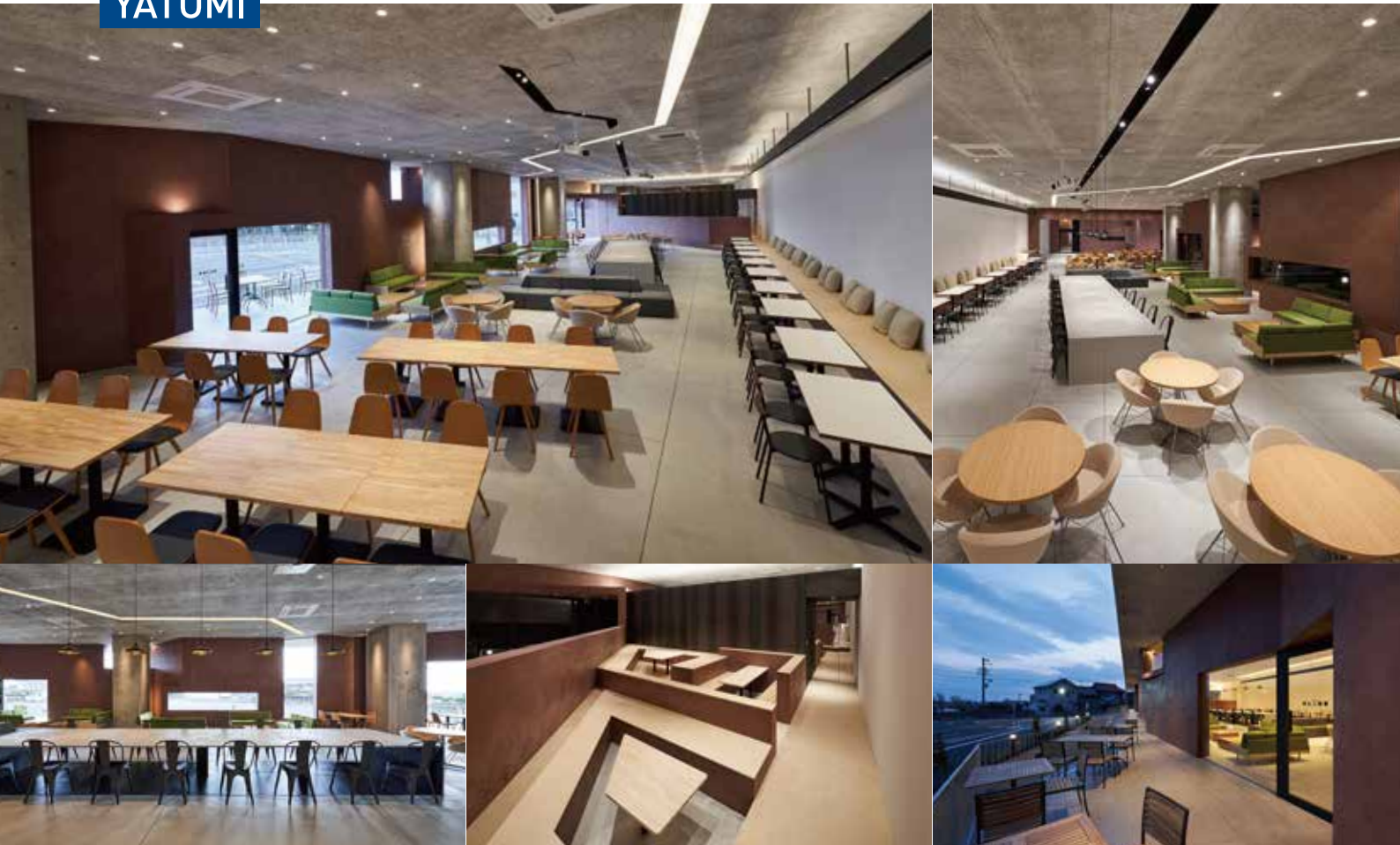
ICHIKAWA WEST



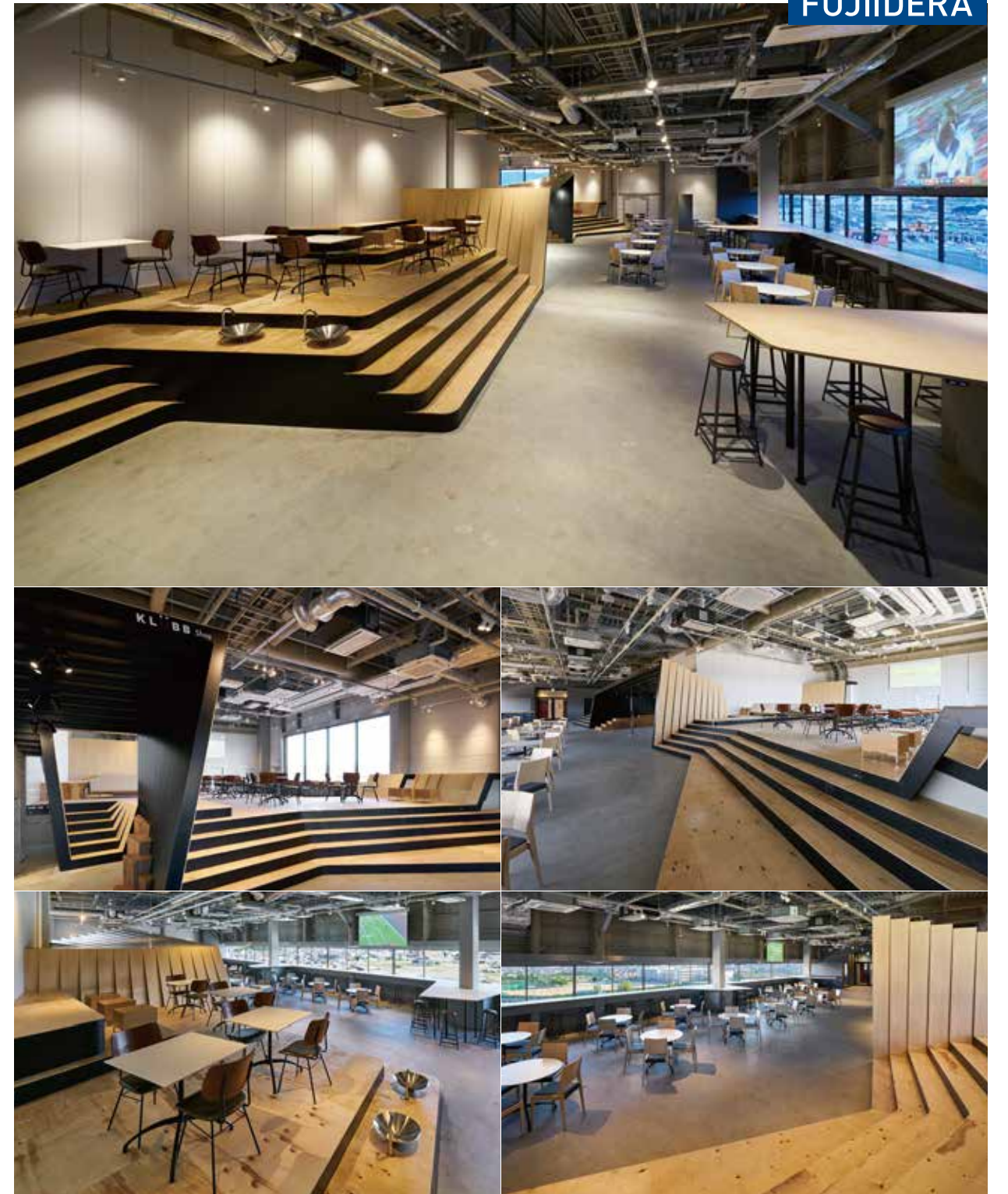
KUKI



YATOMI



FUJIIDERA



NANKO 1

YOKOHAMA SACHIURA 2



HIGASHI OGISHIMA



BARNKLÜBB

子育て世代の職場復帰と育児をサポートする環境を創ることが、テナント企業様の人材確保と女性ワーカーのキャリア形成支援の一助になると考え、延床10万㎡以上の施設にお子様の創造力を育むデザインの託児所（パーククラブ）を設けております。



YOKOHAMA SACHIURA 1



ICHIKAWA



NANKO 1



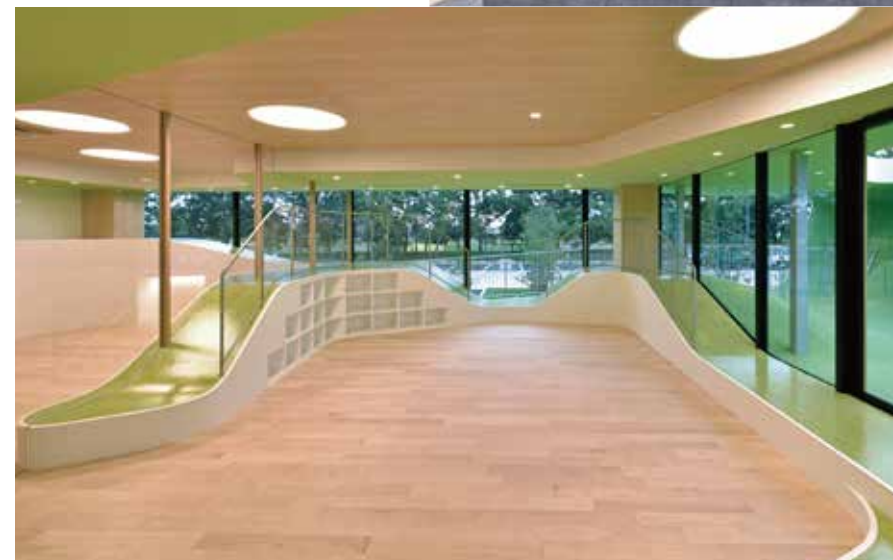
FUJIIDERA



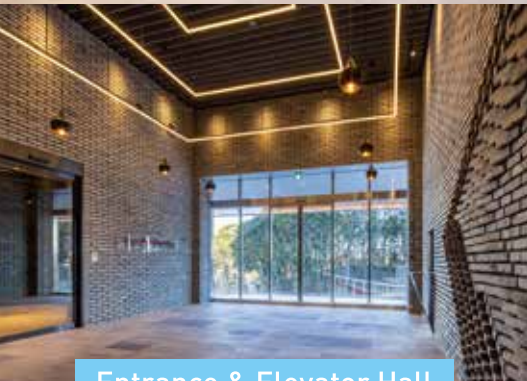
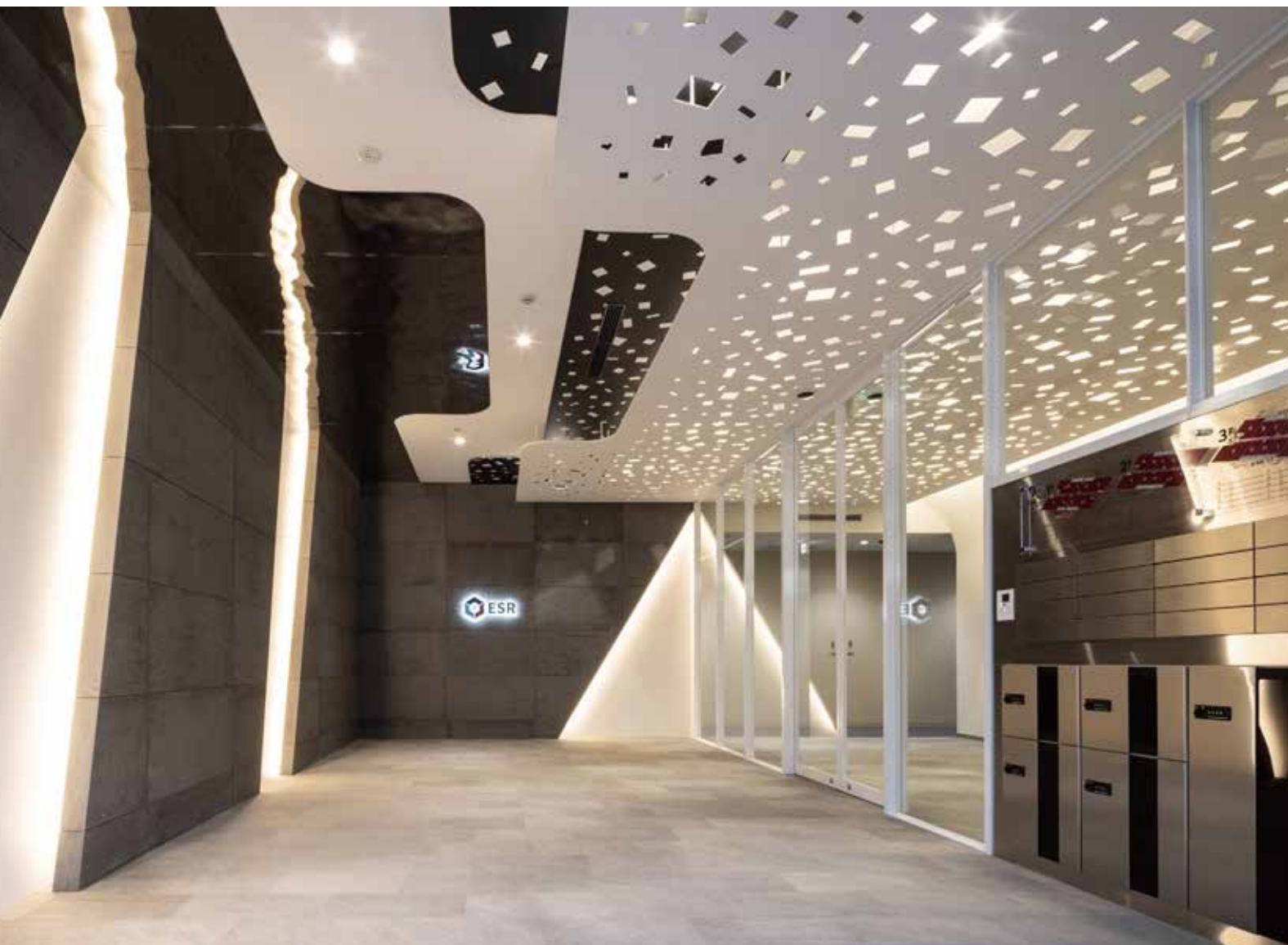
AMAGASAKI



KUKI



YATOMI



Entrance & Elevator Hall



Women's Powder Room



Artwork

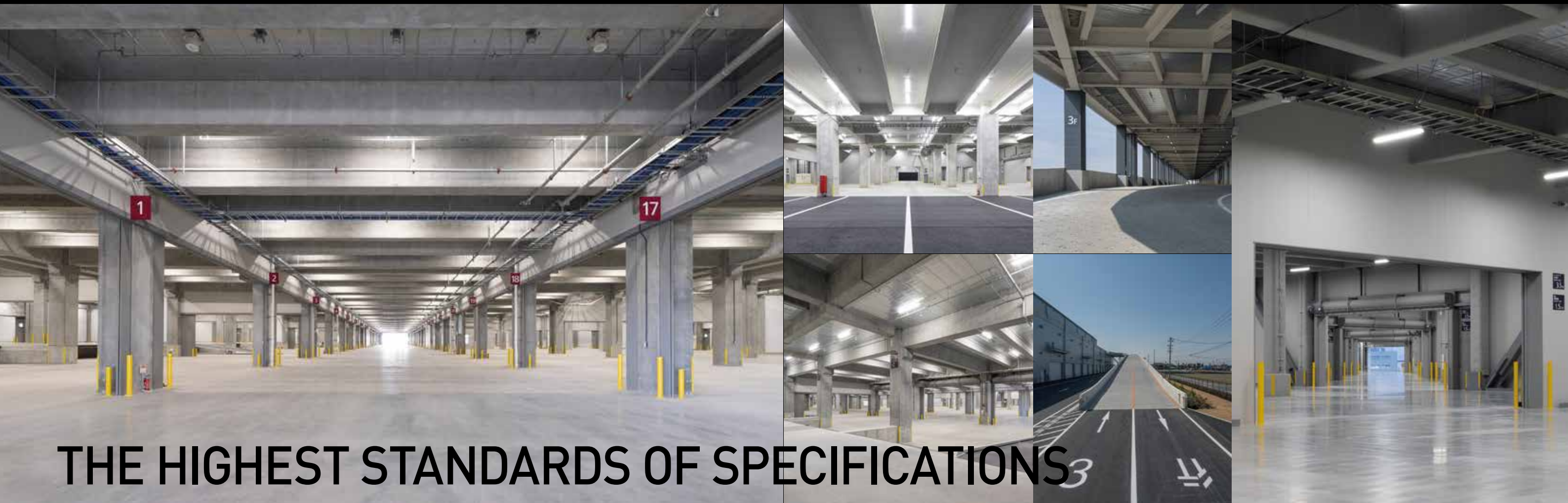
Amagasaki Time Capsule

米国のメディアアーティスト集団・Breakfast 作。作品の前に現れた人の動きがフリップディスクに映し出され、その残像が永遠に保存されるため、電源が入った時から今この瞬間まで、時間の概念を越えていくつもの動きを記憶し再現する作品。

Exhibition Spaces

藤井寺DCは古代文化が栄えた「津堂遺跡」の跡地に建っており、建設前の発掘調査で土器など多く遺物が出土、遺構も発見されました。「文化的な遺産を継承することは企業の責務」と考え、藤井寺市の協力を得て、エントランスホールに「津堂遺跡」の紹介・展示スペースを設けております。2019年に当エリアが「百舌鳥・古市古墳群」として世界遺産に登録されたことを記念し、一般公開も行いました。







SUSTAINABILITY AND ENVIRONMENTALLY FRIENDLY FEATURES



Kanazawa Forest

YOKOHAMA SACHIURA 1

敷地内で30年以上育まれた「金沢の森」を保存すべきと考え、「森のリハビリテーション」をコンセプトに土地本来の力や機能を活かした森づくりを行い、ローラー滑り台やツリーハウス、巣箱やインセクトホテル、水際のウッドデッキなどを新たに設置、動物や四季折々の植物に触れあえる魅力ある空間に生まれ変わらせました。



KLÜBB Park

AMAGASAKI



Green Wall

ICHIKAWA



Colorful Paintings

AMAGASAKI

尼崎DCを取り囲む約1000mの防潮堤に、笑顔溢れるESR社員の子どもたちや躍動感あふれる絵が描かれ、無機質なコンクリート壁が色鮮やかなキャンバスに生まれ変わり、施設を創造溢れる世界観で包み込んでいます。





ABOUT ESR LTD.

日本法人・ESR株式会社は
2006年にレッドウッド・グループ・ジャパン株式会社としてスタートし
2016年に社名変更、現在に至ります

ESR LTD. Corporate Data

商号 …………… **ESR株式会社**（読み：イーエスアール / 英文名：ESR LTD.）
設立 …………… **2006年5月8日**
※2016年10月3日：レッドウッド・グループ・ジャパン株式会社から現商号に変更
事業内容 …… **物流施設の開発・所有・運営・投資助言**
資本金 …………… **4億6,697万円**
従業員数 …… **67名**（2022年10月1日時点）
免許/登録 …… 宅地建物取引業 東京都知事(3)第87446号
第二種金融商品取引業・投資助言・代理業 関東財務局長(金商)第1863号
子会社 …………… **ESRリートマネジメント株式会社**（2016年5月31日設立 投資運用業）

Winning Strategies of Japan Team for New Economy Development

土地の分析調査から取得、企画・設計、リーシング、施設運営・管理、アセットマネジメントまで
一貫した総合力とESRグループのネットワークを最大限活かし
ニューエコノミー不動産（先進的物流施設・データセンター）の開発を通じて
付加価値の高い解決策を提供することでお客様のビジネスをサポートし
最もダイナミックな不動産セクターへの投資機会を投資家の皆様に提供しております。



経済動向調査、マーケット動向調査、物件のポテンシャル分析など、グローバルなマクロ的視点とローカルなミクロ的視点からのアプローチにより、日本国内のニューエコノミー不動産市場を分析します。

土地取得

不動産マーケットのスペシャリストにより、成長が見込め需要が高い土地の選定・積極的な取得を行います。

土地のポテンシャルを引き出し、優良な投資機会を創出するための高い企画力・マネジメント力・技術力を備え、高品質で持続可能な先進的物流施設とデータセンターを創出します。

新たな顧客開発を積極的に行い、様々な課題やニーズにお応えできる物件、レイアウト、設備、アメニティなど付加価値の高い解決策を提案し、お客様の利益の最大化と事業拡大に寄与いたします。契約締結後も、弊社施設を有益にご利用いただけるよう、きめ細かなフォローと長期的で強固な関係を築いてまいります。

グローバルの機関投資家と緊密な関係を構築し、高度なコンプライアンスと情報の透明性を重視しております。運営効率の改善など様々な手法を駆使したアセットマネジメントで資産価値の最大化を実現し、投資家の利益拡大に努めてまいります。

プロパティマネジメント

施設運営・管理を専任するプロパティマネジメントチームにより、安心・安全で快適な施設環境を提供し、施設価値の向上に努めています。

Executive Directors in Japan



スチュアート・ギブソン
ESR株式会社 代表取締役
ESR共同創設者・共同CEO
/ エグゼクティブ・ディレクター

ESR全体の運営および事業開発を統括。不動産開発および不動産投資の経験はアジアで24年以上、内、日本の産業用不動産分野で15年。プロロジスの日本における代表者として2000年に来日、AMBブラックバイン（AMBプロパティジャパンの前身）の共同設立発起人・共同CEOを経て、AMBプロパティジャパン（現：プロロジス）のアドバイザリー委員会委員長を務める。2006年レッドウッド・グループを創設、2016年より現職。スコットランド出身。



松波 秀明
ESR株式会社 取締役

2011年 ESR（旧レッドウッド・グループ）に参画。日本の不動産業界で40年以上の豊富な経験。内、29年間は清水建設にて設計・営業部長などを歴任、2000-2011年 AMBとプロロジスでシニアバイスプレジデント、プロロジスの日本事業開始時のメンバーの一人。一級建築士、宅地建物取引士。東京大学工学部建築学科卒業。



〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-17 神谷町プライムプレイス3階
TEL 03-4578-7121 / FAX 03-4578-7122



〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4-8-17 宇治電ビルディング6階
TEL 06-4560-4960 / FAX 06-4560-4961

OUR PROPERTIES

GREATER TOKYO

GREATER NAGOYA

GREATER OSAKA

GREATER FUKUOKA



01

REDWOOD 原木 DC 1

所在地 千葉県川市原木
敷地面積 16,400 m²
延床面積 32,740 m²
竣工日 2013年9月

02

REDWOOD 原木 DC 2

所在地 千葉県市川市原木
敷地面積 6,242 m²
延床面積 12,472 m²
竣工日 2015年8月

03

REDWOOD 生麦 DC

所在地 神奈川県横浜市長見区
敷地面積 25,500 m²
延床面積 60,574 m²
竣工日 2015年10月

04

REDWOOD 佐倉 DC

所在地 千葉県佐倉市太田
敷地面積 41,658 m²
延床面積 85,424 m²
竣工日 2015年11月

05

REDWOOD 川越 DC

所在地 埼玉県川越市鴨田
敷地面積 (A) 8,313 m² (B) 18,476 m²
延床面積 (A) 16,620 m² (B) 36,017 m²
竣工日 2016年2月

06

REDWOOD 千葉北 DC

所在地 千葉県千葉市花見川区
敷地面積 18,622 m²
延床面積 39,593 m²
竣工日 2016年3月

07

REDWOOD 成田 DC

所在地 千葉県山武郡芝山町
敷地面積 12,113 m²
延床面積 22,909 m²
竣工日 2016年12月

08

REDWOOD 加須 DC

所在地 埼玉県加須市花崎
敷地面積 16,469 m²
延床面積 33,725 m²
竣工日 2017年1月

09

REDWOOD 川島 DC

所在地 埼玉県比企郡川島町
敷地面積 19,408 m²
延床面積 39,799 m²
竣工日 2017年2月

10

ESR 久喜 DC

所在地 埼玉県久喜市上清久
敷地面積 81,159 m²
延床面積 151,501 m²
竣工日 2018年9月

11

ESR 市川 DC

所在地 千葉県市川市二俣
敷地面積 102,244 m²
延床面積 225,007 m²
竣工日 2019年1月

12

ESR 野田 DC

所在地 千葉県野田市中里
敷地面積 18,380 m²
延床面積 37,818 m²
竣工日 2019年7月

13

ESR 守谷 DC

所在地 茨城県守谷市松並青葉
敷地面積 13,224 m²
延床面積 25,240 m²
竣工日 2020年1月

14

ESR 戸田 DC

所在地 埼玉県戸田市新曾南
敷地面積 40,746 m²
延床面積 86,950 m²
竣工日 2020年9月

15

ESR 川崎夜光 DC

所在地 神奈川県川崎市川崎区
敷地面積 36,364 m²
延床面積 78,119 m²
竣工日 2021年4月

16

ESR 茅ヶ崎 DC

所在地 神奈川県茅ヶ崎市萩園
敷地面積 33,870 m²
延床面積 69,315 m²
竣工日 2021年6月

17

ESR 横浜幸浦 DC 1

所在地 神奈川県横浜市長沢区
敷地面積 90,282 m²
延床面積 195,342 m²
竣工日 2022年1月

18

ESR 横浜幸浦 DC 2

所在地 神奈川県横浜市長沢区
敷地面積 90,282 m²
延床面積 195,373 m²
竣工日 2023年1月

19

ESR 川崎浮島 DC

所在地 神奈川県川崎市川崎区
敷地面積 32,227 m²
延床面積 69,550 m²
竣工日 2022年8月

20

ESR 東扇島 DC 1・2

所在地 神奈川県川崎市川崎区
敷地面積 (1) 77,725 m² (2) 66,115 m²
延床面積 (1) 349,640 m² (2) 306,000 m²
竣工日 (1) 2023年3月 (2) 2025年

21

ESR 加須 DC 2

所在地 埼玉県加須市下樋遣川
敷地面積 49,587 m²
延床面積 105,398 m²
竣工日 2023年5月

22

ESR 野田 DC 2

所在地 千葉県野田市蕃昌
敷地面積 21,555 m²
延床面積 45,600 m²
竣工日 2023年8月

D2

ESR TK1 データセンター

所在地 東京都東久留米市
竣工日 2025年9月



23

REDWOOD 名古屋南 DC

所在地 愛知県名古屋南区
敷地面積 17,640 m²
延床面積 36,041 m²
竣工日 2017年5月

24

REDWOOD 弥富 DC

所在地 愛知県弥富市狐地
敷地面積 48,823 m²
延床面積 99,608 m²
竣工日 2018年2月

25

ESR 名古屋大高 DC

所在地 愛知県名古屋市緑区
敷地面積 16,990 m²
延床面積 35,308 m²
竣工日 2019年9月

26

ESR 愛西 DC

所在地 愛知県愛西市南河田町
敷地面積 33,376 m²
延床面積 63,358 m²
竣工日 2020年10月

27

ESR 弥富木曾岬 DC

所在地 三重県桑名郡木曾岬町
敷地面積 79,096 m²
延床面積 155,332 m²
竣工日 2022年4月

28

ESR 名古屋南 DC 2

所在地 愛知県名古屋市港区
敷地面積 23,750 m²
延床面積 48,753 m²
竣工日 2023年10月



29

REDWOOD 南港 DC 1

所在地 大阪府大阪市住之江区
敷地面積 57,051 m²
延床面積 125,651 m²
竣工日 2016年11月

30

REDWOOD 藤井寺 DC

所在地 大阪府藤井寺市津堂
敷地面積 80,236 m²
延床面積 177,514 m²
竣工日 2017年3月

31

REDWOOD 南港 DC 2

所在地 大阪府大阪市住之江区
敷地面積 69,899 m²
延床面積 158,052 m²
竣工日 2018年2月

32

ESR 尼崎 DC

所在地 兵庫県尼崎市末広町
敷地面積 194,428 m²
延床面積 388,570 m²
竣工日 2020年6月

33

ESR 川西 DC 1・2

所在地 兵庫県川西市東睦野/東多田
敷地面積 (1) 63,009 m² (2) 81,910 m²
延床面積 (1) 123,370 m² (2) 128,880 m²
竣工日 2025年

34

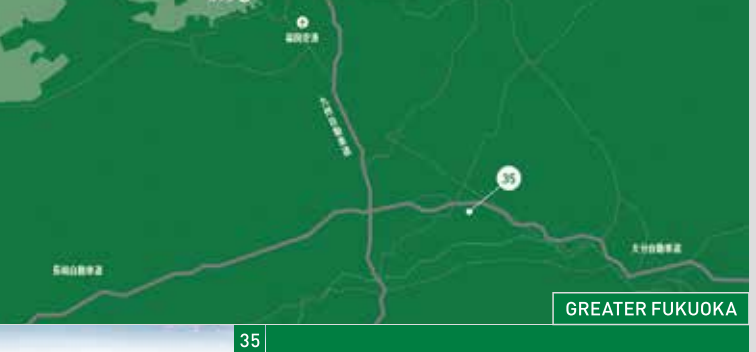
ESR 川西 DC 3・4

所在地 兵庫県川西市東睦野/東多田
敷地面積 (3+4) 360,795 m²
延床面積 計画中
竣工日 2026年以降

D1

ESR OS1 データセンター

所在地 大阪府大阪市
竣工日 2024年



35

ESR 福岡甘木 DC

所在地 福岡県朝倉市一木
敷地面積 40,266 m²
延床面積 70,724 m²
竣工日 2022年12月



www.esr.com/jp/